

Annual Report 2023

活動報告書 2023.4-2024.3



FRIENDS OF
EL SISTEMA
JAPAN ●●●

一般社団法人エル・システマジャパン

誰もが自由で 創造性を発揮できる 共生社会

エル・システムジャパンは、子どもオーケストラ・コーラスなどの、集団で作る音楽を通じた教育活動が無償で実施しています。年齢や国籍や言語、障害を超えて子どもたちが楽しく一緒に学び・発表する機会を大切にしながら、希望する子どもたちには誰にでも開かれた活動を目指しています。



©FESJ2024/YasutakaEida

©FESJ2024/YasutakaEida

©FESJ/2023



©FESJ/2023



©FESJ/2023

音楽を通して子どもたちの「生きる力」をはぐくむために大切にしていること

- ・質の高い教育をどの子にも
- ・無料で誰もが参加しやすく
- ・音楽の喜びを、学び教え合い、芸術の高みへ
- ・言葉や文化の差異を超え、創造性を刺激する自由な環境
- ・当事者と地域のリアリティを反映し、オーナーシップを尊重
- ・学びの場を持続可能にする有形無形のパートナーシップ
- ・感動を届け、地域や人々のウェルビーイングを向上



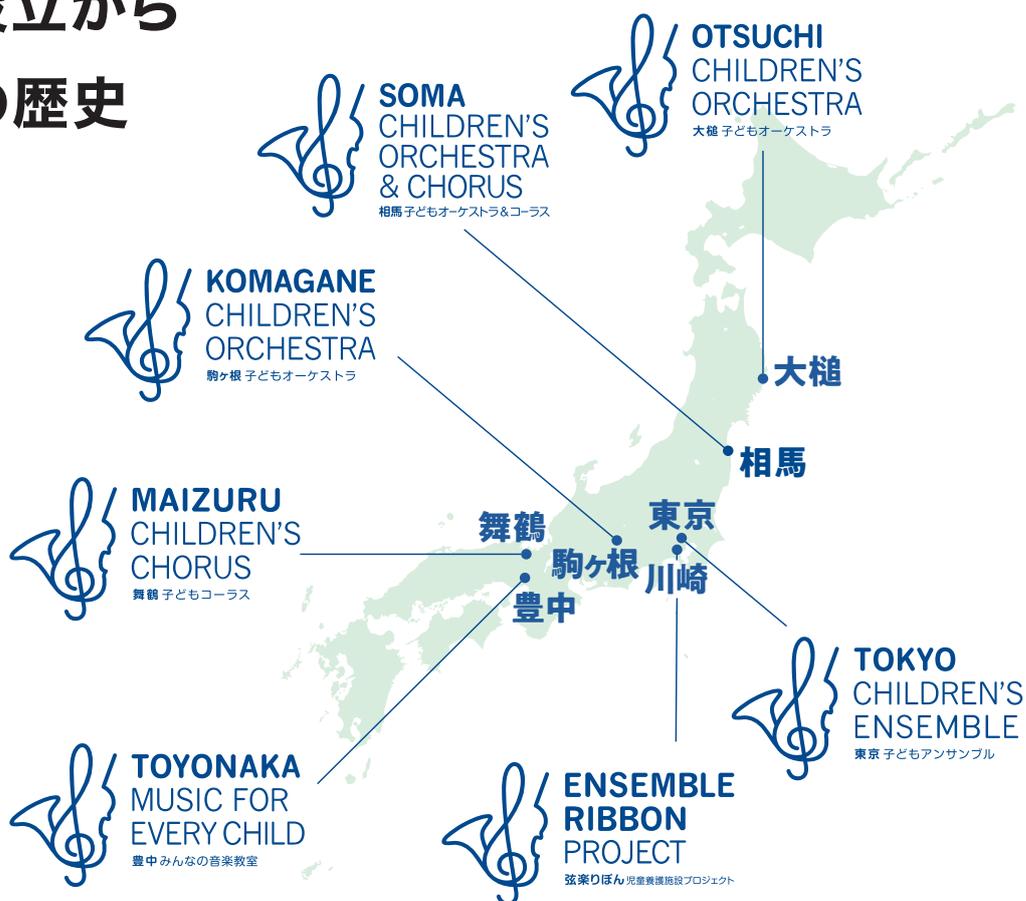
エル・システマ について

エル・システマ(EI Sistema) は1975年、ホセ・アントニオ・アブレウ博士によって南米ベネズエラで設立されました。青少年育成を目的とした音楽教室として始まったこの活動は、世界的に活躍する若手指揮者グスターボ・ドゥガメルなど多くの音楽家を輩出しており、その高い芸術性は、サイモン・ラトルなど著名な音楽家たちにも支持されています。「Tocar, cantar y luchar (奏で、歌い、困難を乗り越えよ)」というモットーのもと、クラシックを始めとする音楽は、意欲やコミュニケーション力など子どもたちの非認知能力を引き出し、社会にもっと貢献しようという信念のもとに活動していて、ユネスコや米州開発銀行など外部機関からも評価されているほか、現在では、70以上の国や地域でそれぞれ独自の発展を遂げています。

エル・システマ ジャパン について

日本では、東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して、自信や尊厳を回復し自分の人生を切り開いていく力をはぐくむことを当初の目的に、2012年よりエル・システマジャパンとして福島県相馬市で開始。2014年から岩手県大槌町、2017年より長野県駒ヶ根市、東京都、10周年を迎えた2022年からは大阪府豊中市、京都府舞鶴市と活動が拡大しています。また、2023年4月からは児童養護施設でのバイオリン教室の実施を音楽支援ボランティア団体「弦楽りぼん」と共に行っています。家庭の事情にかかわらず、どんな子どもも音楽に触れられること、皆で奏でるオーケストラやコーラスの形で学んでいくことを大切に、自己表現の場として、大事な居場所の一つとして、そして音楽が人と人をつなぐことを目指しており、ビジョンとして「誰もが自由で創造性を発揮できる共生社会」を掲げています。2022年、国際交流基金地球市民賞受賞。

エル・システム ジャパン設立から これまでの歴史



沿革

| | | |
|-------|-----|---|
| 2012年 | 3月 | エル・システムジャパン設立 |
| | 5月 | 福島県相馬市と事業協力協定を締結。市内の小学校への部活動支援、音楽授業支援、楽器支援を開始 |
| | 7月 | ベネズエラのエル・システムを統括するシモン・ポリバル音楽財団と了解覚書を締結 |
| 2013年 | 11月 | 作曲家・藤倉大氏による作曲教室を相馬市で開始 |
| 2014年 | 5月 | 岩手県大槌町と事業協力協定を締結。小・中学校の吹奏楽部への支援、楽器支援を開始 |
| 2017年 | 3月 | 長野県駒ヶ根市と事業協力協定書を締結 |
| | 6月 | 東京ホワイトハンドコーラスの教室がスタート |
| | 7月 | 駒ヶ根弦楽器教室がスタート |
| 2022年 | 3月 | 設立10周年を迎え、東京ホワイトハンドコーラスを東京子どもアンサンブル、クリエイティブ・ワークショップに再編 国際交流基金地球市民賞受賞 |
| 2022年 | 5月 | 大阪府豊中市と連携協定を締結。 |
| | 10月 | 豊中みんなの音楽教室スタート |
| 2022年 | 6月 | 京都府舞鶴市、田中彩子 市文化親善大使・歌手、舞鶴子どもコーラスとの4者により「音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり協定」を締結 |
| 2023年 | 4月 | 神奈川県川崎市にて 弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクトスタート |
| 2024年 | 4月 | 東京都渋谷区にて 弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクトスタート |

ごあいさつ

13年目となったエル・システムジャパンの活動を支えてくださる全ての方にお礼を申し上げます。お陰様で、活動は国内各地に広がり、これまで何らかの理由で機会がなかった子が無償で音楽活動に参加できるようになっています。

そうした中、気づいたことがあります。音楽をやってみたいという子もさまざまで、集中し、一生懸命がんばる子もいれば、楽しくマイペースに過ごしたい子もいます。日本では、音楽教育に関わらず、どうしても前者が評価される傾向がありますが、後者も自由にいられるような場づくりを考えてきました。もちろん、コーラス、オーケストラ、吹奏楽は、集団での活動なので、ある程度、皆が同じ方向を向いて、努力することが必要です。ただ、そのことを可能にするためには、多様性が尊重され、個々の自由が保証されることが、両立される必要があります。

異なる個性同士が、各々の状況を理解し、互いに受け入れ支え合い、一緒に何かをつくっていく喜びはかけがいのないものになるはず。音楽はまさにそのために最適だと考えます。だからこそ、エル・システムの活動は、国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)では、教育や、不平等の解消、まちづくりといった目標だけでなく、平和と公正の実現という大きなゴールにつながると信じています。ミクロレベルで保証される自由と平等こそが、公正な社会、そして平和の礎になると。そして、このことの意義を、世界各地で戦火がやまない今、改めて問い直したいと思います。

どうか、私たちの挑戦を応援いただければ幸いです。



エル・システムジャパン 代表理事

菊川 嶺

【略歴】

1971年神戸生まれ。95年ロンドン大学ユニバーシティカレッジ卒業。96年同大学教育研究所政策研究修士課程終了。その後、98年よりユネスコ 南アフリカ事務所にて教育担当。2000年よりユニセフ レソト、エリトリア事務所において、青少年、子ども保護、およびエイズ分野を担当。07年より日本ユニセフ協会にて勤務。11年3月より東日本大震災緊急支援本部チーフコーディネーターとして支援活動を指揮。12年3月に一般社団法人エル・システムジャパンを設立、代表理事に就任。

Annual Report 2023

活動報告書 2023.4-2024.3

- 03 ごあいさつ
- 04 2023年度の活動状況
- 06 相馬子どもオーケストラ&コーラス
- 08 大槌子どもオーケストラ
- 10 駒ヶ根子どもオーケストラ
- 12 東京子どもアンサンブル、クリエイティブ・ワークショップ
- 14 舞鶴子どもコーラス
- 16 弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト
- 18 エル・システム作曲教室
- 20 広報活動
- 22 ご協力のお願い
- 24 会計のご報告
- 26 ご協力、ご支援をいただいた皆様

より多くの子もたちが 芸術や音楽にふれる機会をつくっています。

少子化の影響で部活動に参加する子どもたちも減っており、特に地方部ではその影響が顕著です。エル・システムジャパンは、地域に開かれた音楽活動を行うだけでなく、学校への支援も行うことで、より多くの子もたちが芸術や音楽にふれる機会をつくっています。また、障害のある子どもたちが自分らしく表現することを大切にした音楽活動も行っています。

2023年度の活動状況

エル・システムジャパンは、3つの支援策を柱に、各地やグループの状況に応じた支援を行っています。

学校での支援などを含めて、エル・システムジャパンが支援した子どもたち

1 直接的な支援

(子どもオーケストラ、子どもコーラス、作曲教室)

2 学校を通じた支援

(部活動支援、音楽授業支援、専門家の派遣)

3 総合的な支援

(楽器の購入・修繕・無償貸与)

総計

2,400名

04

相馬子どもオーケストラ&コーラス

相馬

協力協定：福島県相馬市

| | オーケストラ | コーラス |
|-----|--------|------|
| 小学生 | 33名 | 6名 |
| 中学生 | 20名 | 0名 |
| 高校生 | 21名 | 2名 |
| 合計 | 74名 | 8名 |



日々の活動

管楽器教室、
弦楽器教室(初級)、
弦楽器教室(中上級)、
弦楽器自主練習会、
コーラス教室を
各週1回

学校への部活動支援として、
バイオリンの出張指導を
週2回

学校への支援

相馬市内小学校：9校

練習場所

相馬市民会館など：5か所

支援人数(学校への支援を含む)

約2,000名

大槌子どもオーケストラ

大槌

協力協定：岩手県大槌町

| | オーケストラ |
|-----|--------|
| 小学生 | 28名 |
| 中学生 | 7名 |
| 高校生 | -名 |
| 大人 | 5名 |
| 合計 | 40名 |



日々の活動

弦楽器教室を 週4回

部活動支援

町内の小・中一貫校：2校

学校への支援

町内の小・中一貫校：2校

練習場所

町内の子ども向け施設など：4か所

支援人数(学校への支援を含む)

約60名

駒ヶ根子どもオーケストラ

駒ヶ根

協力協定：長野県駒ヶ根市



| | オーケストラ |
|-----|--------|
| 小学生 | 47名 |
| 中学生 | 15名 |
| 合計 | 62名 |

日々の活動
グループレッスンと
弦楽器教室(金・土曜)を
月 3回

練習場所
駒ヶ根市赤穂公民館
駒ヶ根文化会館

支援人数 (学校への支援を含む)
約 **200**名

東京子どもアンサンブル

東京

共催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
後援：板橋区教育委員会、豊島区教育委員会
協賛：ローランド株式会社



| | 東京子ども アンサンブル |
|-----|-----------------|
| 小学生 | 15名 |
| 中学生 | 10名 |
| 高校生 | 3名 |
| 合計 | 28名 |

日々の活動
コーラス教室
週 1回

練習場所
東京芸術劇場

支援人数
28名

舞鶴子どもコーラス

舞鶴

協力協定：京都府舞鶴市、
田中彩子舞鶴市文化親善大使



| | コーラス |
|-----|------|
| 小学生 | 24名 |
| 中学生 | 16名 |
| 高校生 | 14名 |
| 合計 | 54名 |

日々の活動
コーラス教室
週 1回

練習場所
舞鶴市総合文化会館小ホール、
舞鶴商工観光センター など

支援人数
54名

弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト

弦楽りぼん

共催：音楽支援ボランティア団体弦楽りぼん



| | 弦楽教室 |
|-----|------|
| 小学生 | 6名 |
| 中学生 | 2名 |
| 高校生 | 1名 |
| 合計 | 9名 |

日々の活動
弦楽器教室
月 2回

練習場所
児童養護施設
新日本学園 (神奈川県川崎市)

支援人数
約 **50**名
※施設全体へのイベント実施を含む

エル・システマ作曲教室

作曲教室

2023年7月30日 霧島国際音楽祭 中之条ピエンナーレ 特別企画
2023年10月14日 中之条ピエンナーレ 町民アートプロジェクト
2024年2月24日 共催 CoAr

| | | | |
|------|-------------------|---------------------|--------------------|
| 未就学児 | 0名 | 1名 | 5名 |
| 小学生 | 11名 | 6名 | 7名 |
| 中学生 | 2名 | 0名 | 0名 |
| 高校生 | 1名 | 0名 | 0名 |
| 合計 | 14名 | 7名 | 12名 |
| 場所 | みやまコンセル (鹿児島県霧島市) | 中之条ツインホール (群馬県中之条町) | 読谷村文化センター (沖縄県読谷村) |



支援人数 **33**名

※ 豊中みんなの音楽教室は2023年度は活動がありませんでした。

相馬

相馬子どもオーケストラ&コーラス



相馬子どもオーケストラ&コーラスは、今年も地域のイベントにてたくさんの演奏機会を頂戴し、東北市長会総会懇談会や相馬市新春のつどいなど、市主催のイベントで全国各地からのお客様に演奏を披露させていただきました。また「SOMAシーサイドフェスティバル」での弦メンバーの野外ステージ演奏や、復興支援コンサートの「“わ”で奏でる東日本応援コンサート」へのコーラスの出演などは、それぞれ4年ぶりに共演・出演をお声かけいただき、コロナ禍を経てさらに、地域での音楽をとおしたご縁がはぐくまれていることを実感する1年でした。

子どもたちの1年の集大成である「第9回エル・システマ子ども音楽祭 in 相馬」は、これまで最多のお客様をお迎えしての開催となりました。中村第一・中村第二・向陽中学校吹奏楽部計100人の部員による迫力たっぷりの合同演奏に続いて、子どもコーラスが「いま生きる子どもマーチ」などの児童合唱の名曲や、「オリバー！」などのミュージカル曲、メリーポピンズより「スーパーカリフラジリスティックエキスパリアドーシャス」などディズニーの名曲を披露しました。子どもたちは、日本語と英語の歌詞、全員にあるソロ、かわいらしい振付や演出をものにし、各曲の特徴や面白さをよくつかんで見事に歌い演じ切りました。

子どもオーケストラは、多彩なラテン音楽に初挑戦。ヴィラ=ロボスの「ブラジル風バッハ第9番」、ピアソラの「フーガと神秘」という難曲を鮮やかに弾きこなし、続いてライデンの「弦楽オーケストラのためのセレナーデ」を、小学生メンバーの澆刺とした指揮でのびのびと演奏しました。メインの「カルメン」組曲には、小学3年生以上のオーケストラ全員で臨みました。曲想の異なる10曲をスペインのリズムに乗せて生き生きと演奏する姿は、オーケストラとしてまた一段、みんなで成長したという喜びと自信があふれていました。

市内全ての小学校で実施する音楽による学校支援も、今年は各学校の要望に応じて式典に向けた歌唱指導を多く取り入れながら、リコーダー・鍵盤ハーモニカ教室、雅楽や木管鑑賞教室などを開催しました。





大槌

大槌子どもオーケストラ



大槌子どもオーケストラは、この1年を通してオンラインという環境に慣れ、現地に先生がいないからこそ、子どもたち同士でいろいろな意見を交わしながら教え合うことで、より一層チームワークが高まったように感じます。対面レッスンでは、オンラインでは得られなかった技術的な部分をたくさん吸収し、合奏練習だからこそできる、音色や表現を合わせるための弓の使い方や身体の動かし方などを学ぶ時間となりました。

今年度は、音程やボウイングを揃えること、どんな音色で曲を演奏したいのかイメージしながら練習する事を目標に取り組みました。これまでにさまざまなレパートリーの曲を演奏してきましたが、さらにレベルアップし、あまり弾いたことのないリズムの曲に挑戦しました。最初はリズムに慣れず少し苦戦している様子も見られましたが、メトロノームに合わせて歌ったり、手を叩いてリズムを取ったりと工夫して練習している場面が多くありました。また、練習していくなかでこの曲は明るいのか暗いのか、喜びなのか悲しみなのか、弾く前にイメージすることで音楽の音色がどんどん変わり、のびのびとした演奏ができるようになりました。

発表の機会として「浪板海岸ヴィレッジ海音フェスタ」「大槌町民文化祭」に出演させていただきました。そして毎年12月に行われている「大槌子どもオーケストラクリスマスコンサート」も無事開催することができ、今回もロサンゼルス・フィル ビオラ奏者のリチャード・エレジーノさんのご出演が叶い、とても充実したコンサートになりました。リハーサルでは「この1年でとても成長していて驚いた。みんな上手になったね。」とお褒めの言葉をいただき、子どもたちが嬉しそうにしていたのが印象的でした。本番でも練習の成果を発揮し、成長した子どもたちの輝かしい演奏で1年を締めくくることができました。



第50回 大槌町民文化祭



駒ヶ根

駒ヶ根子どもオーケストラ



今年度は、演奏力だけではなく、人間力も地域の方々に一緒に育てていただいた1年となりました。

老人福祉施設「エーデルこまがね納涼祭」、「長野県看護大学学園祭」、JOCAが銀座商店街にオープンした「GOTCHA! WELLNESS(ゴッチャ! ウェルネス)駒ヶ根周年祭」と、それぞれの記念のイベントでゲストとして演奏させていただきました。

エーデルこまがねでは、子どもたちの一生懸命に演奏に取り組んでいる微笑ましい姿を間近で見て、聴いて楽しんでいただきました。長野県看護大学は、練習場の赤穂公民館から徒歩圏内にある環境のよい素晴らしい県立大学です。ご縁がつながり、大学の先生や学生の皆さんが、日々の教室をフェロー(指導ボランティア)として快く助けていただいています。駒ヶ根市には、青年海外協力協会(JOCA)の本部があります。GOTCHA! WELLNESS 駒ヶ根は、そのJOCAが銀座商店街にオープンした、お年寄りも若者も、年齢や疾患、障害の有無に関わらず、すべての住民が様々な人と“ごっちゃませ”に関わりながら健康なまちづくりに取り組んでいる施設です。商店街に子どもたちの演奏が響き渡り、たくさんの方に立ち止まって演奏を聴いていただきました。今後のJOCAとの関わり、展開が楽しみです。

また、今年度から、大きな変化があり、「駒ヶ根子どもオーケストラ演奏会」と「駒ヶ根市子ども音楽祭」が分離して、私たちオーケストラの単独の演奏会と、市が主催する子ども音楽祭の演奏会と2回大きい演奏会が企画されることになりました。それも、地域の団体の方に少しずつですが認めていただけてきた証ではないかと思っています。そして、子どもたちのアンサンブルの力が少しずつついてきて、単独でも演奏会を企画できるようになったことが、今年度の最大の嬉しい収穫となりました。来年度、地域の団体の方から、お声がけをいただき、一緒に共演も決まっています。

少しずつですが、地元根差した、地域の皆さんに愛される団体として育ってきたように感じた1年でした。





東京

東京子どもアンサンブル クリエイティブ・ワークショップ



東京子どもアンサンブル

(みえない・みえにくい子どもたちも参加できるインクルーシブなコーラス)

2023年度は、ようやくマスクを外して互いに向きあって歌えるようになり、メンバーの数もより一層増えました。発表機会としても、今年は東京だけでなく関西のお客様に歌声を披露する機会にも恵まれ、より多くの方に子どもたちの活動を知っていただくことができました。

6月には、日本合唱指揮者協会が主催する合唱の祭典「北とぴあ合唱フェスティバル」に出演。多くの合唱関係者が集う大舞台上で、初挑戦となる3声の楽曲をはじめ、子どもたちは練習してきた成果を存分に発揮しました。

11月には大阪で、2日間に渡る初めての演奏ツアーを経験しました。1日目は、大阪大学中之島センターで行われた、同大学とエル・システマジャパン主催の「第1回いのち共感祭」でオープニング演奏を披露。一人ひとりがあるのままの姿で歌声を一つにする姿に、多くの反響がありました。2日目は「第5回岸和田こなから音楽祭」に出演。岸和田少年少女合唱団と共に、平野一郎作曲《こどものへいわ》を合唱し、世界初演の舞台となりました。子どもたちにとって難曲であった分、成功した瞬間は格別の体験となりました。終了後には、岸和田の子どもたちとの交流会を行い、メッセージカードを手渡して再会を誓いあうなど、かけがえのない時間を過ごしました。また一つ、大きな経験と新たな出会いを重ねた1年となりました。

クリエイティブ・ワークショップ

(ろう当事者にとっての「音楽」を探るプロジェクト)

今年度のテーマは「ろう者のリズム」とし、ろう・難聴者、聴者、世代、職業を問わずさまざまな人が集まって意見を交わす場、「ろう者のオンガクを頭と身体で考えるサロン」を6月から2月までに計5回開催しました。延べ34人が参加し、音楽とは何かという哲学的な問いから、手話に内在するリズムや、音声言語にはない身体言語特有の要素まで、議論が進んだ1年となりました。





©FESJ/2023

©FESJ/2024

©FESJ/2023

©FESJ/2023

©FESJ/2024

舞鶴

舞鶴子どもコーラス



2023年、舞鶴子どもコーラスは多彩な活動を展開しました。上半期は、舞鶴市市制施行記念80周年を祝い、約300人の市民の皆様と一緒にドイツ語でベートヴェンの「第九」に挑戦しました。本番では舞鶴子どもコーラスの特別顧問であり舞鶴文化親善大使でもある田中彩子さんがソプラノのソリストを務められました。そして、豪華ソリストの皆様、プロのオーケストラと共演し、10ヶ月にわたる練習の成果を発揮し観客に大きな感動を与えました。また、子どもたちにとってもこの経験は大きな「感動」という心の財産になりました。

下半期は、初めての自主コンサートに向けて練習に取り組み、田中彩子さんと共に地元の大ホールでコンサートを開催しました。初めてのコンサートで心配もありましたが、子どもたちは最後までしっかり歌い切り、アンコールの「群青」では涙して歌う子どももいました。お客様からも「感動した」「今まで聴いたコンサートの中で一番、心に響いた」などの感想をいただき、自分たちの歌声が聴いている人に届いたことを感じ、とても嬉しいコンサートになりました。また「舞鶴市市制施行80周年記念式典」「舞鶴音楽フェスティバル」「京都府北部児童・少年少女合唱団交歓演奏会」「まいてフェスタ」「平和祈念式典」など地域の行事やイベントにも、たくさん出演させていただきました。

2023年はさまざまな経験を通して『歌の力』を強く感じる事ができ、技術面だけでなく仲間との絆を深め、心の成長を感じることができた貴重な1年となりました。これから、子どもたちにとって子どもコーラスが『居心地のいい場所になること』、『一人ひとりが成長できる場所になること』を目指して活動していきたいと思えます。





©FESJ/2023



©FESJ/2023



©FESJ/2023

©FESJ/2023



©FESJ/2023

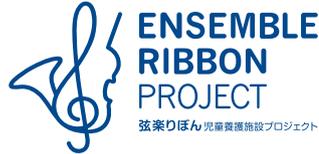


©FESJ/2023



弦楽りぼん

弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト



弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクトは、音楽支援ボランティア団体弦楽りぼんの一部事業を協働する形で、2023年4月より神奈川県川崎市の児童養護施設新日本学園でスタートしました。ボランティア団体弦楽りぼんは、神奈川県平塚市の田中バイオリン工房を主宰する田中眞次さんが代表を務め、全国から集まった使われなくなったバイオリン・ビオラ・チェロを修繕し、児童養護施設に無償で寄贈、ボランティアにより施設内の児童・職員へ演奏指導する活動を2013年から行っていました。コロナ禍で活動が休止し、再開にあたって、エル・システマジャパンが一部事業を協働する運びとなりました。日頃、継続した習い事ができにくい社会的養護下にある子どもたちに豊かな芸術環境を提供することを目指しています。

コロナ前にバイオリンを習っていた子どもたちは、久しぶりにバイオリンを手にし、とても嬉しそうに音を奏で、初めてバイオリンを手にする子どもたちは(中には先生も!)、バイオリンの音にきらきらと表情を輝かせていました。初めは少し緊張していた子どもたちですが、教室再開から1年が経ち、今では元気にバイオリンを奏でています。

施設側のご協力のおかげで、イベントも開催することができ、2023年9月に東京交響楽団の弦楽四重奏コンサートが新日本学園で開催された際には、奏者の皆さんと共演、10月には「第1回弦楽りぼん音楽会」を開催、12月には「新日本学園クリスマス会」に出演し、2024年1月には、バイオリニストの金川真弓さんによる「ミニコンサートと特別レッスン」を開催しました。バイオリン教室に参加する子どもたちには、こうした演奏機会によりモチベーションや技術の向上が見られ、また、教室には参加していない子どもたちにも施設内で音楽を楽しむ機会を提供することができました。

2024年4月からは東京都渋谷区の児童養護施設広尾フレンズでもバイオリン教室が再開されています。





©FESJ/2023

©FESJ/2023



第1回弦楽リぼん音楽会

15:00 開演

1. 小さな世界
2. よろこびのうた
3. きらきら星
4. ワ-ワショップ

16:00 開演

©FESJ/2023



©FESJ/2023



©FESJ/2024



©FESJ/2024

作曲

エル・システム作曲教室

2013年からイギリス・ロンドン在住で世界で活躍する作曲家・藤倉大氏による監修のもと開催しているユニークな作曲教室。今年度は全国3か所で行われました。まず、7月には、霧島国際音楽祭の特別企画として、鹿児島県霧島市の、みやまコンセールに14人の子どもたちが集まり、フランス在住のクラリネット奏者の吉田誠さん、そして藤倉大さんも対面でレクチャーくださいました。(以降10月、2月の教室はロンドンからオンライン参加)

10月には、笙奏者の東野珠実さんが作曲教室3度目となる講師を務めてくださり、東野さんが参加する2023年度の中之条ビエンナーレの関連事業の「中之条ビエンナーレ町民アートプロジェクト」として、群馬県中之条町の中之条ツインホールで開催し、3歳から11歳までの7人の子どもたちが参加してくれました。

2024年2月には、昨年に行った沖縄県読谷村の読谷村文化センターで、地元の文化活動支援を行う一般社団法人 CoAr との共催で開催しました。4歳から12歳までの子どもたち12人が参加し、三味線奏者の本條秀慈郎さんもまた3度目の講師を務めてくださいました。

どの教室でも子どもたちは楽器に興味津々。最初に講師の先生方が楽器についての基本的なレクチャーを行い、藤倉さんが「こんな音も出せるよね」など時には普通の演奏では出さないような演奏方法も奏者の方から引き出し、楽譜への書き込み方法などを子どもたちに伝えていました。子どもたちは思い思いに楽譜に書いていき、時にはそれが文字であることも絵であることも。奏者の先生方は、子どもたちの気持ちのたくさん詰まった楽譜を読み解き、唯一無二の作品の世界初演を次々に披露してくれました。沖縄・読谷村では、作曲教室翌日の本條さんのコンサートで子どもたちの作曲した作品を演奏していただく機会もありました。「楽譜を書くのが楽しかったのでまた来たい」という子どもたちの言葉に手ごたえを感じつつ、来年度も精力的に開催していきたいと思います。





イベントもコロナ前と同様、またはそれ以上に、 子どもたちの様子を、 写真をふんだんに使いながら ご紹介いたしました。

広報活動

エル・システムジャパンは、現在、公式ホームページ、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)で広報活動を行っています。特にFacebookは、現在週5〜7回のペースで投稿、各拠点での活動の様子やイベントのご案内、世界のエル・システム団体のご紹介や支援のご協力をお願いなどを行っています。イベントも各地でコロナ前と同様、また拠点によっては、それ以上に行われるようになった一年でした。子どもたちの出演の様子、出演のために練習に励む様子など、写真をふんだんに使いながらご紹介いたしました。(エル・システムジャパンでは、子どもと保護者に許可を得て掲載しています。)

2023年度もTV、新聞、雑誌、Webなどのメディアに取材、掲載いただき、件数は、TV 7件、新聞14件、雑誌2件、Web 8件、となりました。舞鶴子どもコーラスは、舞鶴市市制施行80周年記念関連行事での取材を受けました。記念式典での合唱披露の様子や、「まいづる市民第九演奏会」でも、ソリストを務めた特別顧問でソプラノ歌手の田中彩子さんとともに、練習から本番に至るまで子どもたちも写真付きで取り上げていただきました。エル・システム作曲教室は全国3か所(宮崎県霧島市、群馬県中之条町、沖縄県読谷村)で開催され、そのユニークな取り組みを興味をもって取材いただき、Webや新聞で特集記事が組まれました。

また、視覚に障害のある子ども・ない子どもと一緒に活動する東京子どもアンサンブルの活動の様子が、初めて、日本で唯一の点字新聞である点字毎日に大きく取り上げられ、関連新聞である毎日新聞にも掲載されました。2023年4月にスタートした弦楽リぼん・児童養護施設プロジェクトについてもスタート直後に新聞取材を受け、クラウドファンディングも同時に行っていたことから、支援者の増加にもつながり、大きな反響をいただきました。東日本大震災から13年目となる2024年3月11日を前に相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をTBSの報道番組「news23」で取り上げていただきました。日本で最初のエル・システムの活動が相馬で始めて12年。参加する子どもたちが、活動を通してどのように成長し、将来を見通しているのかを2人のメンバーへの密着取材で丁寧に描いてくださいました。

メディア掲載

| | 掲載日 | メディア区分 | メディア名 | 記事名 |
|------|--------|--------|-----------------------|---|
| 2023 | 4月19日 | TV | CATV エコーシティ・駒ヶ岳 | 【CEKほっとタイム】 |
| | 5月28日 | 新聞 | 京都新聞 | 舞鶴市制80年節目祝う～記念式典 合唱や功績者表彰 |
| | 6月1日 | 新聞 | 京都新聞 | 舞鶴第九演奏会の特別練習「合唱は体が楽器」ソプラノ歌手・田中さん 熱心に指導 |
| | 6月9日 | Web | 毎日新聞 | 障害のある子も無い子も「思いやりのある合唱団」練習をのぞいてみた |
| | 6月10日 | 雑誌 | バンドジャーナル | 7月号【インタビュー】無償で参加できる場～その意義と作り方を考えよう |
| | 6月16日 | 新聞・Web | 毎日新聞 | 半数に視覚障害「東京子どもアンサンブル」～息づかいタクトの代わり |
| | 6月22日 | 点字新聞 | 点字毎日 | 多様性のある合唱団～東京子どもアンサンブル |
| | 7月5日 | 新聞 | 朝日新聞(神奈川版) | 児童養護施設 3年ぶりの音色～バイオリン無償提供し レッスン |
| | 8月1日 | 雑誌 | 音楽現代 | 8月号 連載(124)『つながれ心、つながれ力』東北レポート ～音楽すること～工藤一郎 |
| | 8月12日 | 新聞 | 岩手日報 | 浜辺彩るハーモニー 浪板海岸で海音フェスタ |
| | 8月15日 | 新聞 | 長野日報 | 福祉施設に響く音色 駒ヶ根子どもオーケストラ エーデル駒ヶ根で演奏披露 |
| | 9月9日 | TV | 福島中央テレビ | 【二畳半レコード】「相馬シーサイドフェスティバル」での演奏の様子放映 |
| | 9月27日 | 新聞 | 朝日新聞 | ポーンクリエイティブ 藤倉大さんと考える(上) 音符生き生き 子どもは偉大な作曲家 |
| | 10月4日 | 新聞 | 朝日新聞 | ポーンクリエイティブ 藤倉大さんと考える(下) 最初から自分で 私だけの曲できた |
| | 10月30日 | 新聞 | 京都新聞 | 舞鶴市制80周年 祝いの第九披露 市民らプロ歌手と熱唱 |
| | 12月1日 | 新聞・Web | 中日新聞(アルプス版) | あす駒ヶ根子どもオーケストラ公演 「練習したよ 聴きにきて」 |
| | 12月3日 | 新聞 | 長野日報 | 子どもオケ 練習成果発揮 音楽教育「エル・システム駒ヶ根」演奏会 |
| | 12月7日 | TV | CATV エコーシティ・駒ヶ岳 | 【CEKほっとタイム】 |
| | 12月14日 | Web | Cocotame (ソニーミュージック) | 藤倉大が監修する『エル・システム作曲教室』が掲げる理念【前編】【後編】 |
| | 12月25日 | 新聞 | 読売新聞(岩手版) | 子どもオケ Xマスの調べ バイオリン、チェロ 大槌で演奏会 |
| 2024 | 1月5日 | Web | 相馬市 | 誓いを新たに 新春の集い |
| | 2月8日 | TV | CATV エコーシティ・駒ヶ岳 | 【みなこいチャンネル】「駒ヶ根子ども音楽祭初開催」 |
| | 3月7日 | TV・Web | TBS | 【news23】「震災の翌年発足 相馬子どもオーケストラの高校生「今度は自分が支える」 |
| | 3月9日 | Web・雑誌 | CJMonmoWEB(シティ情報ふくしま) | 「相馬子どもオーケストラ&コーラス」による、年に一度の音楽祭を「相馬市民会館」で開催 |
| | 3月9日 | TV | テレビ朝日 | 【サンドウィッチマン&芦田愛菜博士ちゃん】 |
| | 3月11日 | 新聞 | 京都新聞 | 合唱美しく 力強く 舞鶴子どもコーラス 初の単独コンサート |
| | 3月15日 | TV | IBC岩手放送 | 【ニュースエコー】「ある中学生の3.11 追悼の思い 音色に込め」 |
| | 3月23日 | Web | 相馬市 | 子どもたちの晴れ舞台 第9回エル・システム子ども音楽祭 |



舞鶴にて田中彩子さんの指導の様子



霧島での作曲教室



TBSNewsDIGにてニュース動画を配信

点字毎日 THE BRAILLE MAINICHI

週刊(毎火曜日発行) 毎日新聞社

第5145号(1922年(大正11年)5月11日創刊) 2023年(令和5年)6月20日号

ハザードマップのサイトがリニューアル
ユニバーサルデザインを重視

国土交通省は5月30日、全国の災害リスクや防災に役立つ情報をまとめて閲覧できる「ハザードマップポータルサイト」(https://disportal.gsi.go.jp/)のリニューアルを行い、運用を開始した。災害リスクや災害時に必要な行動が文字で表示される機能を追加。音声読み上げソフトを使えば、視覚障害者も利用可能になった。ユニバーサルデザインに関する検討会の議論も踏まえた。

UEB導入の対応見直し—日点委が総会開く
奈良モデルの誘導表示設置—播磨市の踏切で体験会
強制不妊除斥期間適用—仙台高裁で控訴棄却
ソフトウェアなどのアイデア募集—アクト・ラボフットリがコンテスト
「ニボラチャンネル」をデジタル化—提供と貸し出しで周知
高校生が音声ガイド—国語の授業で作成
資格事項の今を知る本—解説と当事者のコラムで
多様性のある合唱団—東京子どもアンサンブル

【ニューメディア情報】「センスプレーヤー」発売

連載
【趣味いろいろ(47)】「ビートルズ」ファン 大阪・豊中の三上洋さん
【御園政光のICTノート(27)】「シリ」で音声アシスタントの活用(後編)
視覚障害者総合支援センターには職員 教頭 上条佳伸

【聞く 知る】百学校(46)兵庫県立視覚特別支援学校
【組合編子の「そらふりして」(25)】究極のデュエット
【作ろう! やさしい料理レシピ(3)】火を使わない肉料理と井もの
【「毎日ことば」から(13)】「あらげると」「あらがる」/「盲検とは?」
【追撃】と「追いつけ」/まだ未解決?

近況速報 自然な振る舞い

【点字毎週】森田和子選—特選・梅野和憲(鹿児島県)松本由美子(埼玉県)芦川昌代(静岡県)
【質問なるほど】災害時の緊急参集チームって? /重要宝物って何?
【生活カレンダー】頭ではない代探卵 /定点調査で感染把握 /第3子以降は月3万円 /今週のこよみ /「ひとくちメモ」プロコローの食感を保つ

【スポーツ】群馬山が大関昇進 /ラグビー、日本「最上位」に /今週のスポーツ
情報フォーラム 東京で視覚障害者・就労支援者講習会 /福岡で講座「発酵食品ミキ造り」 /宮崎で視覚障害者マラソン大会 /ロービジョンの集い、Zoomで /ほか

まらくに世界 新マイナカード 2023年にも /ニュース・ダイジェスト

点字毎日メールアドレス tenmai@mainichi.co.jp

東京の子どもたちが掲載された点字毎日



弦楽リボン朝日新聞取材



東京子どもアンサンブル点字毎日取材



さまざまな形の支援があります。 皆様のご協力をお待ちしております。

22

継続的な
ご支援を!!

ちいさな
音楽家
サポーター
(毎月の寄付)

子どもたちへの長期的なサポートのために、継続したご寄付は大きな支えになります。クレジットカードまたは口座振替で、月々1,000円からのご寄付を承っています(1,000円単位で任意の金額になります)。安定した運営と活動のために、ご協力をお願いします。

活動拠点・事業ごとにご寄付いただけるようになりました。
(相馬子どもオーケストラ&コーラス/大槌子どもオーケストラ/駒ヶ根子どもオーケストラ/東京子どもアンサンブル/エル・システム作曲教室/クリエイティブ・ワークショップ/豊中みんなの音楽教室/舞鶴子どもコーラス/弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト)
こちら月々1,000円から承っています。

国内最大クラウドファンディングREADYFOR内エル・システムジャパンのプロジェクトページから お申し込みいただけます

<https://readyfor.jp/projects/fesjmonthly>

今回の寄付
(単発の寄付)

継続や定額でないご寄付も、お預かりしています。「記事を読んで応援したくなって」「誕生日の記念に」「お返し代わりに」など、個々人の皆様のタイミングでご寄付をいただいております。クレジットカードやコンビニ、Pay-easyなどオンラインや、銀行口座、郵便口座へのお振込みをお取り扱いしています。

ご支援は以下の口座より承っております

三菱UFJ銀行

玉川支店 普通 0155133 一般社団法人エル・システムジャパン

ゆうちょ銀行

店名 〇一九(ゼロイチキョウ) 口座記号 00180-7

口座番号 359243 シヤ)エル システムジャパン

- ・振込手数料はご負担願います。
- ・領収書を希望される方は、お手数ですが、別途、info@elsistemajapan.orgまでお名前、ご住所をお伝えいただけますようお願い申し上げます。
- ・ゆうちょ銀行口座の場合は、通信欄にお名前、お電話番号、ご住所を記載ください。

子どもたちの音楽活動を支える多様な支援方法を、ホームページで詳しく紹介しています。



楽器の寄贈

エル・システマジャパンでは、オーケストラに参加する子どもたちに無償で楽器を貸与しています。『以前は使っていたけれど今は弾いていない、吹いていない』という楽器がございましたら、ぜひご寄贈をご検討ください。各地の子どもたちが想いを受け継ぎ、大切に使用させていただきます。

コンサートに行く

各地で開かれる子ども音楽祭やコンサートに、ぜひお越しを！子どもたちの演奏や合唱をどうぞご鑑賞ください。コンサートの情報は、ホームページとFacebookでご案内しています。

ボランティア

弦楽器指導ボランティア(フェロー)、本部サポートボランティア(事務)や広報PRサポートインターンを随時募集しています。

物品やポイントによる協力

読まなくなった書籍やDVDをご寄贈いただき、買い取ってもらうチャリボンや、Vポイントによるご寄付も受け付けています。

ふるさと納税での寄付

相馬市ならびに駒ヶ根市へのふるさと納税を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスまた駒ヶ根子どもオーケストラの活動を支援できます。ふるさと納税では、住民税と所得税の控除を受けられるほか、相続財産の場合は相続税が非課税になります。

企業版ふるさと納税での寄付

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を通じて、相馬子どもオーケストラ&コーラスの活動をご支援いただけます。

企業のメリット
 ・法人関係税の軽減効果が寄付額の最大約9割
 ・社会貢献(企業としてのPR効果)
 ・地域資源を活かした新事業展開など

留意事項
 ・1回あたり10万円以上のご寄付が対象
 ・相馬市以外に本社(主たる事務所または事業所)がある場合に限る

詳細や詳しい手順は、ホームページでご紹介しています。

エル・システマジャパン ふるさと納税



こちらのQRコード・URLよりエル・システマジャパンのホームページをご覧ください。
 (Topページ→「支援をする」)

www.elsistemajapan.org



今後も活動の輪が広がっていくよう、引き続き資金調達活動や効率的な運営に取り組んでまいります。

会計のご報告

2023年度も、皆様のご支援・ご協力をお寄せいただき、エル・システムジャパンは、音楽を通して多くの子どもたちの生きる力を育む事業を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響が落ち着いた2023年度は、各事業拠点での教室運営も、コンサートやイベントの開催も、本格的に実施することができました。2023年4月には、音楽支援ボランティア団体「弦楽りぼん」の一部事業を協働する形で、弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクトを新たにスタートしました。また、昨年度に続き作曲教室も開催することができました。

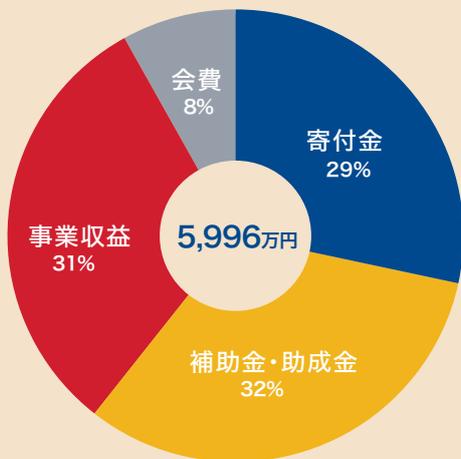
このような状況のもと、2023年度の収入は5,996万円、支出については6,122万円となりました。

各事業拠点での活動が増える中、収入においては助成金・補助金の比率が減少しており管理費の抑制やクラウドファンディング、事業別に応援できるマンスリーサポートの設定など多角的な資金調達活動に取り組んで参りました。しかしながら、世界的なインフレ高進など経済環境が変化する中で今年度も支出が収入を上回る結果となりました。

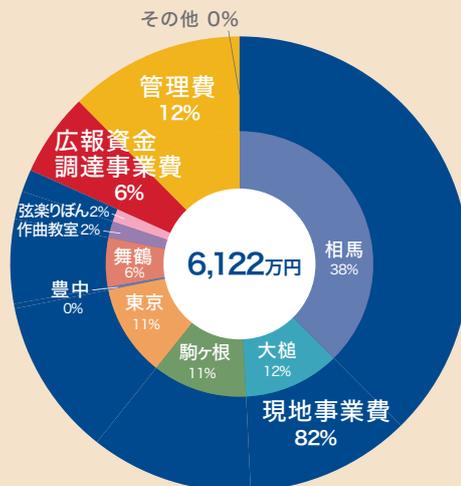
安定した活動を継続し、今後も活動の輪が広がっていくよう、新年度も引き続き資金調達活動や効率的な運営に取り組んでまいります。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

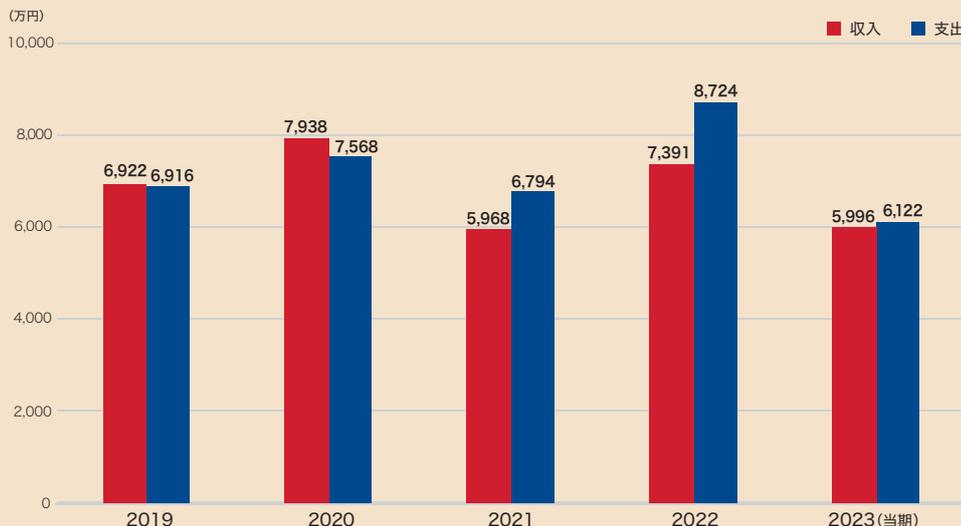
当期収入の内訳



当期支出の内訳



年度別収入・支出の推移



2023年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部 | 金額 |
|---------------------|---------------------|
| 流動資産 | |
| 現金・預金 | |
| 現金 | 27,048 |
| ゆうちょ 当座1 | 135,112 |
| ゆうちょ 当座3 | 10,000 |
| ゆうちょ 普通 | 54,015 |
| 三菱東京UFJ 普通預金 | 1,760,737 |
| 現金・預金 計 | 1,986,912 |
| 売上債権 | |
| 未収金 | 10,694,961 |
| 売上債権 計 | 10,694,961 |
| その他流動資産 | |
| 前払費用 | 266,846 |
| その他流動資産 計 | 266,846 |
| 流動資産合計 | 12,948,719 |
| 固定資産 | |
| 有形固定資産 | |
| 楽器類 | 6,366,200 |
| 減価償却累計額 | △ 6,366,189 |
| 有形固定資産 計 | 11 |
| 投資その他の資産 | |
| 敷金 | 850,000 |
| 投資その他の資産 計 | 850,000 |
| 固定資産合計 | 850,011 |
| 資産の部 合計 | 13,798,730 |
| 負債・正味財産の部 | |
| 流動負債 | |
| 未払金 | 24,804,503 |
| 前受金 | 500,000 |
| 短期借入金 | 7,600,000 |
| 預り金 | 198,297 |
| 未払法人税等 | 70,000 |
| 未払消費税 | 531,600 |
| 流動負債 計 | 33,704,400 |
| 負債合計 | 33,704,400 |
| 正味財産の部 | |
| 正味財産 | |
| 前期繰越一般正味財産 | △ 19,583,371 |
| 前期繰越指定正味財産 | 1,126,711 |
| 前期繰越正味財産額 計 | △ 18,456,660 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 1,322,299 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 126,711 |
| 当期正味財産増減額 計 | △ 1,449,010 |
| 一般正味財産 | △ 20,905,670 |
| 指定正味財産 | 1,000,000 |
| 正味財産 計 | △ 19,905,670 |
| 正味財産合計 | △ 19,905,670 |
| 負債・正味財産の部 合計 | 13,798,730 |

2023年度 正味財産増減計算書

2023年4月1日～2024年3月31日

(税込)(単位:円)

| I 一般正味財産増減の部 | 事業会計 | 法人会計 | 合計 |
|-----------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 16,000 | 8,000 | 24,000 |
| 賛助会員受取会費 | 3,210,667 | 1,605,333 | 4,816,000 |
| 受取助成金等 | | | |
| 受取公的補助金 | 0 | 0 | 0 |
| 受取公的助成金 | 0 | 0 | 0 |
| 受取公的補助金振替額 | 18,625,000 | 0 | 18,625,000 |
| 受取民間助成金振替額 | 700,000 | 0 | 700,000 |
| 受取寄付金 | | | |
| 受取寄付金(個人) | 5,667,860 | 630,089 | 6,297,949 |
| 受取寄付金(企業・団体等) | 5,986,705 | 665,190 | 6,651,895 |
| 受取指定寄付金振替額 | 3,446,482 | 620,229 | 4,066,711 |
| 事業収益 | | | |
| 受託事業収益 | 16,724,820 | 0 | 16,724,820 |
| その他事業収益 | 1,814,080 | 226,698 | 2,040,778 |
| 雑収益 | | | |
| 雑収入 | 0 | 15,899 | 15,899 |
| 受取利息 | 0 | 16 | 16 |
| 経常収益計 | 56,191,614 | 3,771,454 | 59,963,068 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 現地事業費(相馬)計 | 22,990,184 | 0 | 22,990,184 |
| 現地事業費(大槌)計 | 7,138,815 | 0 | 7,138,815 |
| 現地事業費(駒ヶ根)計 | 7,017,562 | 0 | 7,017,562 |
| 現地事業費(東京)計 | 6,837,188 | 0 | 6,837,188 |
| 現地事業費(豊中)計 | 207,049 | 0 | 207,049 |
| 現地事業費(舞鶴)計 | 3,664,349 | 0 | 3,664,349 |
| 現地事業費(作曲教室)計 | 1,223,537 | 0 | 1,223,537 |
| 現地事業費(弦楽リボン)計 | 972,139 | 0 | 972,139 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 |
| 現地事業費計 | 50,050,823 | 0 | 50,050,823 |
| 広報資金調達事業費 計 | 3,606,133 | 0 | 3,606,133 |
| 事業費計 | 53,656,956 | 0 | 53,656,956 |
| 管理費計 | 0 | 7,558,411 | 7,558,411 |
| 経常費用計 | 53,656,956 | 7,558,411 | 61,215,367 |
| 当期経常増減額 | 2,534,658 | △ 3,786,957 | △ 1,252,299 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 2,534,658 | △ 3,786,957 | △ 1,252,299 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,000 | 0 | 70,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | 2,464,658 | △ 3,786,957 | △ 1,322,299 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 5,622,741 | △ 13,960,630 | △ 19,583,371 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 3,158,083 | △ 17,747,587 | △ 20,905,670 |
| II. 指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取寄付、補助金等 | | | |
| 受取公的補助金 | 18,625,000 | 0 | 18,625,000 |
| 受取民間助成金 | 700,000 | 0 | 700,000 |
| 受取寄付金 | 3,546,000 | 394,000 | 3,940,000 |
| 一般正味財産への振替額 | | | |
| 公的補助金の振替額 | 18,625,000 | 0 | 18,625,000 |
| 民間助成金の振替額 | 700,000 | 0 | 700,000 |
| 寄付金の振替額 | 3,446,482 | 620,229 | 4,066,711 |
| 当期指定正味財産増減額 | 99,518 | △ 226,229 | △ 126,711 |
| 指定正味財産期首残高 | 800,482 | 326,229 | 1,126,711 |
| 指定正味財産期末残高 | 900,000 | 100,000 | 1,000,000 |
| III. 正味財産期末残高 | △ 2,258,083 | △ 17,647,587 | △ 19,905,670 |



ご協力、ご支援いただいた皆様

2023年4月1日～2024年3月31日の間に原則5万円以上のご寄付、及びボランティアで各種技術協力をくださった個人、企業、法人のお名前を、ご本人の了承を得た上で掲載しております。

ご協力いただいたアーティストの皆様

- 阿部徳博(パーカッション)
- 阿部美由花(コーラス)
- 石井忠彦(チェロ)
- 石田深秋(コーラス)
- 伊藤茂(合唱指導)
- 伊藤萌(トランペット)
- 稲寄智秋(バイオリン)
- 猪又麻衣子(チェロ)
- 上杉理香(バイオリン)
- 内山剛博(チェロ)
- 海野隆次(ファゴット)
- 大庫るい(ピオラ)
- 大澤愛衣子(バイオリン)
- 岡崎明義(フルート)
- 岡田大和(トロンボーン)
- 小島弥生(合唱指導)
- 柿原美夏(バイオリン)
- 鹿田美帆(合唱指導、ピアノ)
- 菅野梓(パーカッション)
- 川崎美耶子(合唱指導)
- 北湯口佳澄(サクソフォン)
- 呉惇禎(コントラバス)
- 酒井くるみ(バイオリン)
- 佐藤花音(バイオリン)
- 佐藤俊也(トランペット)
- 佐藤大哉(コントラバス)
- 須藤亜佐子(バイオリン)
- スミス恵美(パーカッション)
- 千石進(クラリネット)
- 千田真紀(オーボエ)
- 鈴木正之(トロンボーン)
- 多井千洋(ピオラ)
- 臺隆裕(トランペット)
- 壺境(舞踏)
- 玉置ひとみ(コーラス)
- 辻田薫り(バイオリン)
- 東野珠実(笙)
- 戸田薫(バイオリン)
- 中野紗織(合唱指導)
- 名和俊(コントラバス)
- 西脇将伍(表現者)
- 野間春美(ピアノ)
- 橋本颯一(ピオラ)
- 半澤淳子(ピアノ)
- 檜山知美(コーラス)
- 舟山式子(チェロ)
- 本條秀慈郎(三味線)
- 牧原依里(映画作家)
- 松崎文(教育心理学・特別支援教育)
- 松嶋聖児(合唱指導、ピアノ)
- 松本日向子(ピアノ)
- 三森知子(ピアノ)
- 持田富士美(ファゴット)
- 森岡ゆりあ(バイオリン)
- 山地梨保(ハーブ)
- 山本大(ホルン)
- 山本陸(オーボエ)
- 横田真規子(バイオリン)
- 横山希(ピアノ)
- 吉川真澄(ソプラノ)
- 吉田誠(クラリネット)
- 吉原正教(トロンボーン)
- ラッキィ池田&彩木エリ(振付)
- リチャード・エレジーノ(ピオラ)
- 和波さやか(パーカッション)
- LOVE(シンガーソングライター)
- <敬称略、五十音順>

ご支援いただいた皆様

- 一般社団法人あおい福祉AI研究所
- 青柳千尋
- 芦屋国際中等教育学校
- あぶくま信用金庫
- 猪狩明彦
- 池上彰
- 株式会社うむさんラボ
- LVMH モエ ヘネシー・レイヴイトン・ジャパン株式会社
- オアシス楽器店
- 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ
- 大谷雅子
- 大槌町
- 小島弥生
- オリエンタルモーター株式会社
- 公益財団法人音楽文化創造
- 春日俊也
- 川原直
- 岸和田こなから音楽祭実行委員会
- 久保田慶一
- キックマン株式会社
- gooddo株式会社
- Global Giving
- 一般社団法人CoAr
- 小林明子
- 小林博之
- 駒ヶ根市
- コモンズ投信株式会社
- 公益社団法人才能教育研究会
- 佐伯栄一
- 笹森社大
- ジオアーステクノ株式会社
- 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会
- 芝崎智子
- 渋谷隆次郎
- 真如苑
- 相馬市
- 株式会社ソノリテ
- 竹内章子
- 田添菜穂子
- 田中バイオリン工房(田中真次)
- 谷垣陽子
- 津田大介
- つつじ点訳友の会
- 公益財団法人東京交響楽団
- 公益財団法人東京都歴史文化財団(アーツカウンシル東京)
- 公益財団法人東京都歴史文化財団(東京芸術劇場)
- 鳥越浩一
- 中村孝史
- 西宮きらさら母交響楽団
- 仁藤里香
- 二瓶浩
- 日本ろう者劇団
- ハクソウメディカル株式会社
- 株式会社パシフィック・コンサート・マネジメント
- パツハ平均律を弾く会
- 早川知彦(早川医院)
- 株式会社バリューブックス
- 比嘉梨香
- フェローオーケストラ
- 吹浦房子
- 福羽泰紀
- フジカワナオミ
- 舟越一郎・舟越里美(funaco design studio)
- 堀西基
- 株式会社文京楽器
- 舞鶴市
- 前野裕梨奈
- 松古樹美
- 増田ユリヤ
- 株式会社ミオアンドカンパニー
- 三尾徹
- 村田大介
- 株式会社メディアネットワークス
- 文部科学省
- 矢部久美子
- ヤフー株式会社
- ローランド株式会社
- 若林直子
- 渡辺昌志
- <敬称略、五十音順>

楽器を寄贈して くださった皆様

- 岡村由里子
- 曾根典子
- 種市真紀子
- 森ゆかり
- 山田真弓
- 渡邊愛子
- <敬称略、五十音順>

皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます

音楽監督・音楽顧問の皆さま

エル・システムジャパン音楽監督
オーケストラ



木許裕介(指揮者)

エル・システムジャパン音楽監督
コーラス



古橋富士雄(合唱指揮)

舞鶴子どもコーラス 特別顧問



田中彩子(ソプラノ歌手)

エル・システム作曲教室 監修



藤倉大(作曲家)

弦楽りぼん・児童養護施設プロジェクト
スペシャルサポーター



金川真弓(バイオリニスト)



一般社団法人 エル・システム ジャパン

本部スタッフ

菊川稷(代表理事)

渡辺更(相馬拠点担当)

佐藤花音(大槌拠点担当)

横田真規子(駒ヶ根拠点担当)

砂川巴奈歌(東京拠点担当)

菊川佳代(東京拠点担当)

田添菜穂子(広報)

加藤カヨ(総務)

関根正美(経理)

稲寄智秋(広報・総務・経理スタッフ)

エル・システムジャパン 活動報告書2023

発行：一般社団法人エル・システムジャパン

〒101-0052 東京都千代田区 神田小川町3-24 大栄堂第2ビル 3F

tel: 03-6811-7077 mail: info@elsistemajapan.org

発行日: 2024年11月 デザイン: 舟越 一郎 (funaco design studio)

©一般社団法人エル・システムジャパン



www.elsistemajapan.org



elsistemajapan



El Sistema Japan



@ElSistemaJapan



el_sistema_japan



FRIENDS OF
EL SISTEMA
JAPAN ●●●

一般社団法人 エル・システマジャパン